

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

543-596

事務事業名	橋りょう補修事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	2	4	10	1	6,760
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり											
施策	44 交通機関と道路の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要						
		事業期間	年度～	年度	関連計画 条例等							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	・維持補修の必要な橋梁。	・補修必要箇所数:箇所	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			20	25		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	・安全に通行できる橋梁。	・単年度維持補修箇所数:箇所	18目標	5	最終目標	
			18実績	5	19目標	5
		23目標	5	23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	維持補修の必要な橋梁に補修工事を実施し、安全に通行できる橋梁とする。 ・床版、桁、橋脚、橋台、目地部、転落防止施設等の維持補修工事。	・電源立地地域橋梁維持補修工事 南信濃地区 島河原橋(1橋) ・橋梁維持補修工事(4箇所)	工事施工箇所:箇所	5箇所
	18年度の実績	・橋梁維持補修工事	工事施工箇所:箇所	4箇所程度
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	国庫支出金	0	
	特定財源	0	0
	起債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	13,472	6,760
	事業費計(A)	13,472	6,760
人件費	正規職員所要時間	18年度 100	19年度 100
	臨時職員等所要時間	0	0
	人件費計(B)	358	358
	トータルコストA+B	13,830	7,118

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・橋梁の安全性向上。	・瑕疵事故及び苦情件数:件	現状値	5	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ ・老朽化した橋梁が多く、橋梁施設の破損等が頻繁に発生した。	事業を取り巻く状況の変化 ・車両の大型化や交通量の増大に伴い、橋梁施設に対する負荷が増大している。	事業に対する市民や議会の意見 ・地域住民からの補修要望及び議会からの要望が出されている。
--	--	---

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由) ・橋梁の安全性、利便性が高まる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由) ・工法の検討及び新たな技術の導入。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由) ・老朽橋について早期対策が必要である。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由) ・安全な交通の確保が困難となる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由) ・早期に対策を講じ安全確保が必要である。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) <input type="checkbox"/> 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由) ・市が管理する橋梁である。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) <input type="checkbox"/> 可能 (その理由) ・工法の検討及び新たな技術の導入。
		公平性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由) ・不特定多数の市民が利用する公共の橋梁である。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 ・新しい工法の検討等によるコスト縮減、緊急度の高い補修必要橋梁のランク付け。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	・新工法の情報収集及び橋梁台帳整備により、現状の把握に努め効率よく整備を実施する。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	<input type="checkbox"/> 必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	